

農山漁村地域整備計画 実施状況評価調書

計画の概要	計画の名称	栃木県農業生産基盤整備計画(H27)
	計画策定主体	栃木県
	対象市町村	宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、河内郡上三川町、芳賀郡益子町、芳賀郡茂木町、芳賀郡市貝町、芳賀郡芳賀町、下都賀郡壬生町、下都賀郡野木町、塩谷郡塩谷町、塩谷郡高根沢町、那須郡那須町、那須郡那珂川町 [25市町]
	計画期間	平成27(2015)～31(2019)年度
	計画の目標	成長産業として発展する農業の実現に向けて、農地や農業水利施設などの農業生産基盤を整備保全するとともに、農村地域を支え発展させるため、農村における生活環境の向上を図り、新たな魅力と価値を創造する、「進化する農業・栃木」を推進します。
	評価指標	<p>《「進化する農業・栃木」の推進》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生産性向上と経営の安定化を図るため、農業生産の基盤である農地等を整備し、68haの優良農地を確保するとともに、地域の中心となる経営体へ44haの農地集積の増加を図る。(優良農地728ha→796ha、農地集積332ha→376ha)</li> <li>新たに基盤整備等を推進するため、13地区において事業実施計画を策定する。(計画策定地区0地区→13地区)</li> <li>食料供給力の基盤となる農業用水の安定供給に向けて、農業水利施設等の適切な整備・更新し、8,750haの食料の安定供給可能な農地を確保する。(食料の安定供給可能な農地0ha→8,750ha)</li> <li>畜産農家における飼養管理の省力化・低コスト化により経営規模拡大を図るため、公共牧場等の草地改良整備を行い、乳用牛及び肉用牛合わせて1,824頭の飼養頭数の増加を図る。(飼養頭数5,044頭→6,868頭)</li> <li>農村生活環境の向上・維持を図るため、農業集落排水施設の整備・改築及び機能保全を行い、9,270戸の生活排水等を安定的に、効率良く処理を図る。(受益戸数0戸→9,270戸)</li> <li>中山間地域等における地域特性を活かした農業と農村づくりの促進を図るため、農業用排水施設や農道等の農業生産基盤と農村生活環境を総合的に整備し、399haの優良農地を確保する。(優良農地499ha→898ha)</li> </ul>
	対象事業	農地整備(経営体育成型):27地区、農地整備(実施計画策定事業):10地区、農地整備(草地整備型):2地区、農地整備(畜産担い手総合整備型):4地区、水利施設整備(基幹水利施設整備型):1地区、水利施設整備(基幹水利施設保全型):10地区、水利施設整備(地域農業水利施設保全型):10地区、水利施設整備(畑地帯担い手育成型):1地区、農村整備(農業集落排水事業):12地区、農村整備(集落基盤再編型):2地区、農村整備(中山間地域総合整備型):4地区
全体事業費	13,549,939千円	

## 評価指標

定量的指標	目標値	実績値	達成率	備考
<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性向上と経営の安定化を図るため、農業生産の基盤である農地等を整備し、68haの優良農地を確保するとともに、地域の中心となる経営体へ44haの農地集積の増加を図る。 (優良農地728ha→796ha、農地集積332ha→376ha)</li> </ul>				
優良農地の確保面積	796 (ha)	802 (ha)	100.8%	対象28地区 うち完了6地区 継続22地区
農地の利用集積面積	376 (ha)	413 (ha)	109.8%	
<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに基盤整備等を推進するため、13地区において事業実施計画を策定する。 (計画策定地区0地区→13地区)</li> </ul>				
事業実施計画策定地区数	13 (地区)	13 (地区)	100.0%	対象10地区 うち完了10地区 継続 - 地区
<ul style="list-style-type: none"> <li>食料供給力の基盤となる農業用水の安定供給に向けて、農業用水利施設等の適切な整備・更新し、8,750haの食料の安定供給可能な農地を確保する。(食料の安定供給可能な農地0ha→8,750ha)</li> </ul>				
生産性の高い農地の確保面積	8,750 (ha)	8,760 (ha)	100.1%	対象22地区 うち完了20地区 継続 2地区
<ul style="list-style-type: none"> <li>畜産農家における飼養管理の省力化・低コスト化により経営規模拡大を図るため、公共牧場等の草地改良整備を行い、乳用牛及び肉用牛合わせて1,824頭の飼養頭数の増加を図る。 (飼養頭数5,044頭→6,868頭)</li> </ul>				
乳用牛及び肉用牛の飼育頭数	6,868 (頭)	6,529 (頭)	95.1%	対象 6地区 うち完了 2地区 継続 4地区
<ul style="list-style-type: none"> <li>農村生活環境の向上・維持を図るため、農業集落排水施設の整備・改築及び機能保全を行い、9,270戸の生活排水等を安定的に、効率良く処理を図る。(受益戸数0戸→9,270戸)</li> </ul>				
農村生活環境の向上戸数	9,270 (戸)	9,235 (戸)	99.6%	対象12地区 うち完了10地区 継続 2地区
<ul style="list-style-type: none"> <li>中山間地域等における地域特性を活かした農業と農村づくりの促進を図るため、農業用排水施設や農道等の農業生産基盤と農村生活環境を総合的に整備し、399haの優良農地を確保する。 (優良農地499ha→898ha)</li> </ul>				
農業生産性の向上を図る農用地面積	898 (ha)	860 (ha)	95.8%	対象 6地区 うち完了 1地区 継続 5地区

	項目	評価細目	評価	説明欄
評価	交付対象の進捗状況	計画した事業を適切に執行できたか。	○	計画期間(平成27年～令和元年)内に、計画した83地区で事業を実施した。
	事業効果の発現状況	目標とする事業効果が発現されたか。	○	農地の整備等により優良農地の確保が図られた。また、事業を契機とした中心経営体への農地集積が図られた。
	成果目標の目標値の実現状況	定量的指標を達成できたか。	○	各指標で95%以上の目標を達成しており、継続地区は栃木県農業生産基盤整備計画(R2)において引き続き取り組む。
	今後の方針	栃木県農業振興計画の実現に向けて、継続地区は「栃木県農業生産基盤整備計画(R2)」に位置づけ、事業効果の早期発現を図る。		